



# 文京 白ばら

題字 和田 清

## 第 58 号

文京区明るい選挙推進協議会

文京区選挙管理委員会

〒112-8555 文京区春日1-16-21

☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7



東京都知事選挙開票所風景

### 会長のご挨拶

明るい選挙推進協議会会長 奥山 政治



昨年選挙が続きましたが、今年は久しぶりに選挙のない年になりそうです。いつも申しておりますが選挙のない時こそ私達推進委員はより明るい選挙を目指して啓発の向上に努めるべき好機かと存じます。変わらぬ会長を務めておりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、来年は早々に統一地方選挙が予定されております。いつも高い投票率を誇るわが区ですが、地方選挙のみ下降気味です。この辺をいかに啓発すべきか、秋からの啓発事業の課題として見直してみたいと存じます。皆様の実のあるご提案を期待する次第です。

今年も暑い夏、残暑と続き加えて豪雨や台風の影響で国内各地の被害は甚大です。かたや世界的には各国間の紛争が絶えず、内外の環境は最悪とも言えます。今、私達が目指す「明るい選挙」こそ、明るい未来を実現するための懸け橋と信じて已みません。

### 委員長就任のご挨拶

選挙管理委員会委員長 高松 秀幸



選挙管理委員会委員長の就任に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

一月にはソチ冬季オリンピック、六月にはサッカーの本場ブラジルでワールドカップが開催されました。羽生選手が我が国初の男子フィギュアスケートの金メダル獲得など、若者たちの奮闘ぶりが目立ちました。

そんな中で、選挙のほうに目を向けますと、国民投票法が改正され、四年後には国民投票の投票年齢が十八歳以上に引き下げられます。公選法や民法の改正も視野に入れられており、若年層への啓発を念頭に、明るい選挙推進委員の皆様方とともに、これからも明るく正しい選挙の推進に努めてまいります。

最後に、奥山会長、藍綬褒章受章おめでとうございませう。これまでのご功績に対し、深く敬意を表しますとともに、今後ともご健勝にて益々ご活躍されますことを心からお祈り申し上げます。



### 藍綬褒章伝達式

平成二十六年五月八日 文京区明るい選挙推進協議会 奥山 政治会長が藍綬褒章を受章されました。

明るい選挙の実現のため有権者への啓発活動や近隣住民への投票の呼びかけを行うなど奥山会長の永年にわたる活動に対して、改めて感謝申し上げます。



舛添東京都知事から表彰状を受取る奥山会長

#### 藍綬褒章

「教育衛生慈善防疫の事業、学校病院の建設、道路河渠堤防橋梁の修築、田野の墾闢（こんへき、開墾）、森林の栽培水産の繁殖、農商工業の発達に關し公衆の利益を興し成績著明なる者又は公同の事業に勤勉し労効著明なる者又は公同の事務に勤勉し労効顯著なるもの」に授与される。

### 藍綬褒章拝謁式

平成二十六年五月十五日皇居宮殿「春秋の間」で藍綬褒章拝謁式が行われました。天皇陛下に拝謁をされ、全国の藍綬褒章受章者と記念撮影をされました。

#### 奥山会長経歴

昭和六十二年二月文京区明るい選挙推進委員に就任。平成四年七月一日同明るい選挙推進協議会委員。平成十四年四月に同明るい選挙推進協議会会長となり現在に至る。



集合写真（前列左から9人目が奥山会長）

### 明るい選挙推進委員になって



向丘地区  
中野 暎子

知人の方から選挙管理委員会にご紹介頂き推進委員をお受けすることになりました。選挙管理委員会は選挙事務を所管する部署との認識で多少遠い存在でしたが、今回お受けしたことにより身近に感じ、また責務の重さを実感いたしました。

来年の統一地方選挙施行まで選挙はないようですが、予定されている啓発事業には必ず参加して参る所存でございます。民主主義の根幹であります公正で明るい選挙の推進に、ささやかではございますが、お役に立ちたいと思います。



根津地区  
中山 治子

今年は異常気象のため各地で豪雨による災害が発生しており、三月十一日東日本大震災後の復興も三年半経過し見通しが立ちません。また急速に進む人口減少社会への対応が迫られております。

国民一人ひとりが知恵を絞り等しく負担しなければならぬ問題が山積みしております。

貴方の選挙での一票が少子高齢化社会の対応策を決め、愛する日本の明るい未来を創ると信じて、これからも棄権防止、明るい選挙推進委員の一人として微力ながらお手伝いをさせていただきます。





# 花まつり啓発活動



**梅まつり**  
 今年の湯島天神梅まつりは、珍しく三度ほどの雪に見舞われ、雪中の梅まつりとなった。この梅は五年ほど前に全面移植され直し、白加賀、豊後、寒紅梅、東雲、紅千鳥など三百本余りの白梅、紅梅が咲き誇り、その整然とした景観は、見る人の美的感覚を十二分に満足させてくれる。このような中、明るい選挙啓発活動は晴天に恵まれた三月一日に選挙への関心と投票率が上がることを願う行われ、例年に負けぬ好成果を挙げることができた。**湯島地区 小河原 宏**



**さくらまつり**  
 三月二十九日は快晴・さくら満開の啓発活動日和に恵まれ、十一時から明るい選挙推進委員を中心に総勢二十九名で実施されました。樹齢五十三年百二十本の桜が並木の左右と中央に見事に咲き誇り、中央の緑道はお花見の宴会で盛り上がり、地元イベントも賑わう中、全員の願いは同じ、「選挙の時は棄権しないで」、「あなたの一票を大切に」と、声を掛けながらティッシュを渡し、時には労いの言葉を頂いたりして、有意義な啓発活動でした。**大塚地区 葛城 美智子**



**つつじまつり**  
 四月二十六日、根津神社のつつじまつりで、明るい選挙の啓発活動が行われました。一票を無駄にしないよう、ティッシュを渡しながら棄権防止を呼びかけました。お天気もはつきりしない一日でしたが、大勢の人が遠方から来られ、祭り中は、甘酒茶屋や、いろいろな露店が出たり、イベントがあったり、いつもは静かな境内も大変な賑わいでした。若い方が少なかったと思われましたが、有意義な活動でした。**根津地区 榎本 洋子**

## るびー



汐見 地区  
 本田 京子

大気不安定な今年は災害の多い夏でした。豪雨、土砂災害などの被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

「かつて経験した事がない災害」という言葉を気象予報士や地元の被災者の方達がおっしゃっているのをたびたび聞きました。

これまでの防災意識を大きく見直す必要があると強く感じました。テレビで被災地での地元消防団、警察官、自衛隊の方々、そしてボランティアの人々の力強い救出活動を拝見してとても頼もしく感動を覚えました。

自然の猛威による災害であっても、それを少しでも避ける事ができる工夫、そしてそれを実現させていく手段が必要だと思いました。

普段、政治は私達の生活とはあまり関係がないと考えているかもしれませんが、実はごく身近なものだと思えます。安心して生活していける社会の実現、その第一歩が選挙への参加ではないでしょうか。復興の一日も早いことを願っております。



明るい選挙推進委員の異動（敬称略）

就任	退任
礪川地区 大塚地区 大塚地区 音羽地区 湯島地区 湯島地区 向丘地区 汐見地区 駒込地区 駒込地区	大塚地区 音羽地区 湯島地区 湯島地区 向丘地区 汐見地区 駒込地区 駒込地区
宮澤 輝子 今澤 文男 市川 秀子 田中 輝夫 鎌倉 精一 三浦 陽子 中野 暎子 中山 治子 立澤 充 荒川まさ子 白井 誠	細田 幸子 松崎志づゑ 岸田 勲平 郡司よしの 宮西 弘子 大野登美子 田村 道男

選挙管理委員（8月1日付）

委員長	高松 秀幸
職務代理	東村 昭平
委員	堀内 喜司夫
委員	柳内 克夫

10月からの主な啓発活動予定

- 話しあい強調月間  
10月1日（水）～10月31日（金）
- 地区別座談会  
10月8日（水）  
文京シビックセンター  
（26階スカイホール）  
10月14日（火）  
汐見地域活動センター  
（2階洋室）  
10月16日（木）  
アカデミー茗台  
（1階レクリエーションホール）
- 東洋大学学園祭における啓発  
11月1日（土）  
東洋大学白山キャンパス
- 菊まつりにおける啓発  
11月8日（土）  
湯島天満宮
- 明るい選挙推進委員管外視察  
11月26日（水）
- 白ばらセミナー  
12月6日（土）
- 「はたかしのひびく」における啓発  
1月12日（月）
- 東京都明るい選挙推進大会  
1月23日（金）  
文京シビックホール（大ホール）

- ポスターコンクール作品展示  
2月23日（月）～26日（木）  
文京シビックセンター
- 話しあい強調月間  
3月1日（日）～3月31日（火）
- 梅まつりにおける啓発  
3月7日（土）  
湯島天満宮
- さくらまつりにおける啓発  
3月未定  
播磨坂



選挙人名簿登録者数（9月2日現在）

男性	79,796人
女性	89,712人
合計	169,508人

編集後記



私にとって初めての白ばら編集会議は暑さ厳しい八月七日に開かれました。編集委員の皆で率直な意見を出し合い紙面の検討をし、原稿の依頼先なども決めていきます。

てきぱきとした進行、積極的に熱心な皆様の姿勢に気持ちよく打合せが終了しました。

五十八号の主な記事は明るい選挙推進協議会・奥山政治会長の藍綬褒章受章と花まつりにおける啓発活動です。

奥山会長は十年以上にわたり会長をお引受け頂き、ご尽力頂いております。一回心よりお祝い申し上げます。続けるということは、大きな力を生みます。啓発活動も地道に続けてこそという思いを新たに致しました。白ばらも啓発活動の一助となりますように願っております。（小野 記）

《編集委員》

- 坂巻 三登・片岡 哲子・荒木 勝世  
上村 恵子・丸山 貞子・小山美弥子  
武田 文夫・本田 京子・小野 朋子  
（地区順）